

二〇二三年度入学試験 BⅠ

京都先端科学大学附属中学校

国語

注意

- 問題は全部で十一ページあります。
- 「試験開始」の合図があるまで問題を開いてはいけません。
- 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 質問がある場合は、静かに手をあげ、教員が来るのを待ってください。
- 「試験終了」の合図があったらすみやかに解答をやめ、以後は教員の指示にしたがってください。

□一 次の1～4から間違いの漢字を探し、正しく直しなさい。

- 1 感染症によく利く新薬を開発した。
- 2 彼はファッション業界で偉大な成功を納めた。
- 3 友達の私有する土地に入って山菜を取る。
- 4 湖を望む景色で有名な宿を予約した。

□二 次の1～4の季語が表す季節（春夏秋冬）をそれぞれ答えなさい。

- | | |
|---|------|
| 1 | 大根 |
| 2 | いなずま |
| 3 | 田植え |
| 4 | 八十八夜 |

③ 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。作問の都合上本文を変えたところがあります。

SDGsの目標12は「つくる責任 つかう責任」と題されている。このなかで具体的なターゲットの1つとして掲げられているのが食料廃棄の削減だ。当然のことであるが、あらゆる食品は地球上の何らかのエネルギーや資源を利用して生産されている。つまり、食品を廃棄することは、その食品の生産にかかったエネルギーや資源を浪費することに等しい。食品ロスは立派なX問題なのだ。国連の関係機関が2020年に各国の政策担当者向けに公表した報告書によれば、地球上の*GHG排出量のうち、約9%は小売業者や消費者によって廃棄される食品が原因とされている。したがって、SDGs社会の現代で重要なものは、食品ロスを「減らす」ことだ。「そんなの当たり前だ」と思われるかもしれないが、もつたいない精神を軸とする。日本の食品ロス対策は、本当に食品ロス削減につながっているのだろうか。また「もつたいないから、食べる」という姿勢は「食品ロスを減らす」ことに重きをおいた態度なのだろうか？

本当に必要なことは、無駄な廃棄の根本要因を無くすことだ。Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つの英語の頭文字であるRを大切にしようという、3R運動という言葉で聞いたことがあるだろうか。リデュースは削減という意味で、無駄が出ないように元々の「チョウワツツ」や製造工程を調整しようということ。再利用を表すリユースと、再生資源化を表すリサイクルよりも、最初から無駄が出ないようにリデュースすることが最も重要だと言える。「もつたいないから」や「まだ食べられる」ばかりが目される日本の食品ロス対策は、リサイクルを重視し過ぎているといえる。より重要なのは、食料の生産のあり方を見直し、適切な生産を実現することだ。そのためには、消費の場面だけではなく、食品の生産・流通の段階にまでさかのぼって対策を実行することが必要となるのだ。

ここで流通段階における食品ロスの主要因ともなっている課題がある。日本の流通業界には「3分の1ルール」と呼ばれる商慣習がある。これは食品の賞味期限について、メーカーと*卸、小売業者間で暗黙のうち設定されたもので、賞味期限を3つに割って最初の3分の1が納品期限、次の3分の1が販売期限、最後の3分の1にはいると店頭から撤去するというものだ。A賞味期限が6ヶ月あるとした場合、メーカーは小売業者に製造日から2ヶ月の間に納品しなければならない。B次の2ヶ月間が、小売業者

B 日程 [B I]

の店頭で販売される期間だ。B、賞味期限がまだ残っているにもかかわらず、最後の2ヶ月間は販売せず、撤去し、廃棄や返品処理などに廻すというものだ。

「え、賞味期限が6ヶ月あるなら、最後まで売ればいいのに！」と思うかもしれないが、実際にはそうはならない。食品ロス問題の専門家である井出留美さんによれば、「アメリカの場合は日本より長い2分の1、ヨーロッパの場合はもっと長くて3分の2くらいまでは納品を受け入れているのに、日本は3分の1と、とても厳しいです。販売期限も、あるコンビニオーナーの話によると、本当は11月までもつチョコレートであっても10月で廃棄することです」という。C、食品ロス問題へのカンシンが高まったことで、3分の1のルールを慣習を変えようとする動きもでてきているようだ。

「京都市では、市とスーパー（平和堂とイズミヤ）が協力して1ヶ月間、賞味期限・消費期限がギリギリになるまで商品を販売するという実験を実施しました。すると、食品ロスは10%削減されたうえに、スーパーの売上が5・7%も上がったというのです」（井出さん）

つまり、食品ロスを減らしながら売上を保つことは、努力次第で可能ということだ。

ちなみに、よく「食品ロス」と同じ意味の言葉として、「フードロス」という言葉が使われることがある。食品は英語で「Food」だから同じ意味だと思われるが、実は英語圏で言う「Food Loss」と、日本の食品ロスは概念が異なる。そして、この背景にあるのも、やはり日本と外国との食品ロス対策への意識の差であると指摘するのは、先にも紹介した小林教授だ。

日本語の「食品ロス」とは、食品から発生する廃棄物全体を指す「食品廃棄物」のうち、まだ食べられる部分（可食部）を指す。バナナを例にとると、皮は食品廃棄物だが、中身は食品ロスということになる。一方、国連による定義をみると「フードロス」(Food Loss)は「廃棄される仕組みがあり無意識に捨てられるもの」とされている。わかりやすく言えば、主に産地での生産・収穫から店舗に届くまでの輸送中に発生した廃棄、例えば規格外農産物の廃棄などがこれに含まれる。つまり、消費の段階で発生した廃棄については、フードロスと言わないのだ。小売や消費の段階で発生する廃棄は、「フードウェイスト」(Food Waste)と呼ばれる。この定義は「選択を失敗するなど、人の自由意思にもとづく行為によって引き起こさ

B 日程 [B I]

れるもの」とされ、主に店舗や消費者によって廃棄されるものを指す。これらのことを踏まえて、小林教授はこう指摘する。「日本語の食品ロスは『まだ食べられるかどうか』つまり廃棄物かどうかに注目した概念です。一方、国際的に用いられるフードロスやフードウェイストは、発生原因を踏まえて、「生産から消費までのどの段階で廃棄が発生しているのか」という流通システムに注目していると言えます」

日本の食品ロス対策の改革では、単に消費者の「もったいない精神」に訴^うえるだけでなく、こうした言葉の改革にも取り組み、発生現場や要因を踏まえつつ、個別に対策を練³っていくべきだろう。もちろん、私たち消費者がもつたない精神を発揮することは大事だが、家庭の食においても、リデュース、リユース、リサイクルの順番にできることがないか、しっかり見直してみる必要がある。

(山本謙治『エシカルフード』)

*G H G：温室効果ガスのこと。 卸：メーカーから商品を買ひ、小売業者に売る業種。

問一 〰〰〰部 1 〰 3 のカタカナを漢字に直し、漢字には読みがなをひらがなで記しなさい。

問二 Xに入る語句としてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 国際 イ 環境 ウ 人権 エ 医療^{いりょう}

問三 〰部 1 「日本の食品ロス対策」とありますが、その問題点を本文中から「〰こと。」に続く形で十五字以内でぬき出しなさい。

問四 〰部 2 「本当に必要なことは、無駄な廃棄の根本要因を無くすことだ」とありますが、そのためにはどのようなことをすべきだと筆者は述べていますか。二つ答えなさい。

B 日程 [B I]

問五 A C に入る語句としてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。同じ記号には同じ語句が入ります。

- ア ただし イ そして ウ もちろん エ つまり

問六 ー部 3 「日本と外国との食品ロス対策への意識の差」について、

- 1 「日本」の「食品ロス対策の意識」を表す言葉を本文中から十字程度でぬき出しなさい。
2 「外国」の「食品ロス対策の意識」の具体的な例としてふさわしいものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 商品として規格外のトマトをジュースとして加工し販売する。
イ 閉店時間が近づくともろそばの値段を下げて販売する。
ウ サンドウィッチを作る際に残ったパンの耳を無料で配布する。
エ 多くの人が来店する週末にシヨートケーキの製造量を増やす。
オ 売れ残ったジャガイモを使ってポテトサラダを作り販売する。

四 次の文章を読んで、あとの間に答えなさい。

風海と康太の日坂家で育てられた宙は、日坂家の海外移住をきっかけに、風海の姉であり、本当の母親である花野と一緒に暮らすことになった。しかし、二人はけんかをしてしまった。

「例えば、何かしてもらったら『ありがとう』、悪いことをしたら『ごめんなさい』。嬉しいときは笑って、哀かな

B 日程 [B I]

しいときは泣く。こういうの、生まれたときから知ってるような気がするだろう？ だけどそれは、小さなころからたくさんのひとが愛情をもって繰り返し教えしてくれたから、身についたんだ。当たり前前に染みついたのは、繰り返し教えてくれる存在があったからなんだ。でも花野さんは、教えてもらってないんだよ。子どもはどうして愛されるのか、どういう風に可愛がられるのか。おやすみのキスも、頑張ったねのハグも、宙は知ってるんじゃないか？」

佐伯に問われて、宙はAと頷く。もちろん知っている。だってママたちは不自由なんて感じないほど、寂しさなんて知らないでいられるほど、わたしを可愛がってくれていた。

「カノさん、子どものころは寂しかったのか、な……」

ぼつりと呟いた自分の言葉に、宙ははっとした。それから佐伯を見る。いま、すごく大事なことに気が付いた。

「わたし、寂しいとか、怖いとか哀しいとか、大人は感じないんだと思ってた」

大人には、自分と同じような弱い感情などないと思っていた。強くてたくましくて、簡単に涙をこぼさない、そう信じていた。だって、風海や康太は子どもの時分の話をしてくれたけれどそれは楽しかったりワクワクするエピソードばかりで、哀しい思い出や辛い記憶を語りしなかった。だから、大人は子どものころから強かったのだと、矛盾しているけれど、そう思いこんでいた。

ああ、だから佐伯がはじめの話をしたときに不思議な気持ちになったのだ。弱い存在だったときなどあるはずがないと思っていたから。

でも佐伯にも花野にも、弱いときはあったし、いまもなくなっていない。そんなことに、ようやく気付いた。

佐伯が微笑む。

「大人も悩むよ。嫌な気持ちに苦しむことだってある。オレもそうさ。だからな、花野さんのさっきの台詞は、自分に向けたものだったんだ。『やっぱ、あたしには無理だ』『あたしなんか引き取るんじゃないか』。そういう、自分への呆れた気持ちとか情けない気持ちからの言葉だった」

「それは……それは、分かんないよ。わたしのことが嫌になっただけかもしれない」

「それはない。分かるんだ。オレ、花野さんのことは分かるんだ。何年見ても思ってたんだ」

静かに、力強く佐伯は言っていて、空になった宙の皿に新しくパンケーキを「モ」った。「ジャムもいいけど、こっちも美味いんだぞ」とメープルシロップをたっぷりとかける。窓から差しこむ光を受けて、溶けたバターと蜜が「B」と輝いた。

「花野さん、宙が来る前にめちやくちゃ部屋を片付けてたんだぞ？ それに、オレにわざわざ連絡してきて、『子どもが好きそうな料理を作ってあげて』って。『よろしくお願います』って頭下げてきたときには腰抜かすかと思っただよ。頭下げるのが嫌いなあのひとがあんなこと言うなんて信じられねえ。花野さんが宇宙人に*アブダクトされて別人になったのかと思っただくらい」

おどけたように言っていて、佐伯は「食えよ」と微笑んだ。

「宙が納得するまで、オレが花野さんの説明をしてやる。だから、いまは腹いっぱい食えよ」

「……うん」

「恭弘のくせに、あたしのフォローしようとしてんじゃねえええ」

しゃがれた声がして、驚いて見ればドアの前に花野が立っていた。いつものえんじ色のジャージを着て、髪は「C」に乱れている。

「え、え、花野さんどうしてここに」

「カノさん、いつ入ってきたの！」

ドアに取り付けられたカウベルは、鳴らなかつたはずだ。動揺する宙たちに、花野は「さつきからいたわよ」と思い切り顔を擡めてみせた。

「それに、どうしてここに、じゃねえのよ。恭弘が宙を捜しに行くって出てったまま帰って来ないから、心配になって捜してたに決まってるだろうが！」

「え、それなら携帯に電話してくれたらよかったのに」

「我が家の廊下に転がってた、これかよ！」

ジャージのポケットから出したスマホを花野がつき出すと、「うわ、まじで」と佐伯が慌てたように立ち上がって自身の尻ポケットをまさぐった。

「うわ、落としてたんだ。花野さん、ごめん」

「あんたたちに何かあったのかと捜し回って、ここまで来たたら店の前にバイク停まってんのに気が付いた。したら何よ、ふたりしてのんびり朝ごはん食ってやがるじゃねえの」

全身でため息をついた花野はその場に座りこみ、「信じらんない」と*独りごちる。

「あ、あの。カノさん、わたし」

突然の花野の登場にびっくりしていた宙が我に返る。椅子から下りて駆け寄ろうとして、しかしすんでのところ足が竦んで動けない。D していると、顔を上げた花野がふっと笑った。その顔は、泣き出しそうに見えた。

「嫌でしょ、こんなのが母親だなんて」

「え……？」

「嫌に決まってるよね、料理もしないし、母親らしいことを何にもしてあげられない。だから風海ちゃんが育ててくれたの。姉さんには無理でしょうって。やっぱ風海ちゃんの言う通りだったね。あたしなんか育てられちゃ、可哀相だ」

日に照らされた花野の肌が、透けて見えるほど白い。とても寒い冬の朝にできる薄い氷のようで、ちょっと力を加えたら砕けてしまいそうだと思ふ。そんなわけ、ないのに。

「あんただけでなくて、あたしのためにも『正しい形にすべきだ。進むべきだ』って日坂さんがあんまり言うから、その気になっちゃったんだ。あのときシンガポールに行けって言うべきだったのに、あんたとの生活をちよつとだけ夢見てしまったから、言えなかった。でも、結局うまく暮らせない。あたしのせいでここに残ってしまったって、ごめんね」

花野がそっと笑う。薄く開いた唇からは八重歯が見えない。花野が輪郭のないぼやけた存在に、弱々

しい何かになっていく。立ち尽くしていた宙はぐっと息を呑むと、駆け寄って花野の頬を両手で押し上げた。宙の小さな手のひらに無理やり引き上げられた唇から、八重歯がこぼれる。

「痛っ。何すんのよ、宙。仕返しのつもり？」

不満そうな声はいつもの花野のものだった。だから、宙はすっと息をスった²。

「わ、わたしも、カノさんとくらしてみたいと思ったの！」

自分でも驚くほど、大きな声が出た。

「一緒だと、楽しいかもって思ったの。だから、わたしもごめんなさい！」

花野が目を見開いて、宙はその目を見返す。ふたりはしばらく見合った。

先に笑ったのは、花野だった。ぷつと噴き出して、細い体を揺らす。それから、「あんた、おっきな声出せるんじゃない」と宙の頬を軽くつついた。

「さっきも『バカ』って叫んだじゃん？　そういう感じで、言いたいことあったら大きな声ではっきり言ってくんない？」

「え、え。あの、あの、わたし」

花野はどこか嬉しそうに笑い、続ける。

「悔しいけど、恭弘の言う通り。あたし、分かんないんだよね。あんたがして欲しいこととか望んでることに、気が付けないの。しかもあたしはだいたい自分のことで手いっぱいだし、忘れっぽいし、すぐにキャパオーバーしちゃう。だけど、おっきい声で言ってくれたら、それくらいは聞こえるから。ちゃんと、教えてよ」

花野が、ジャージのポケットから取り出したものを、宙に渡す。それは、昨晚感情のままに丸めてスった³プリントだった。丁寧に伸ばされ、綺麗に折りたたまれている。

「ごめん、ね。昨日だったんだね」

「……いいの。これは、だって、わたしだって忘れてたから。でも……、ちょっとだけ、寂しかった」

言おうかどうしようか悩んで、口にする。そんな宙の頭に、花野がぼん、と手を載せた。

「ごめん。寂しくさせて」

X その声に、宙は少しだけ涙が滲^{にじ}んで、そしてぐっと我慢^{がまん}した。

(町田そのこ『宙ごはん』)

*アブダクト：連れ去られること。 独りごちる：独り言を言うこと。

プリント：宙のクラスの授業参観の案内のプリント。

問一 ㄱㄱ部 ㄷㄷ部 ㄴㄴ部 のカタカナを漢字に直し、漢字には読みをひらがなで答えなさい。

問二 A ㄱ D ㄷ に入るものとしてふさわしいものを次から選び、それぞれ答えなさい。

ア ぼさぼさ イ きらきら ウ おどおど エ わくわく オ のろのろ

問三 ㄱ部 ㄷ部 「はっとした」とありますが、宙は何に気づいたのですか。その内容を簡潔に説明しなさい。

問四 ㄱ部 ㄷ部 2 「矛盾」の意味としてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア なくともよいものこと
- イ つじつまの合わないこと
- ウ 大したちがいのないこと
- エ 敵に囲まれて苦しいこと

問五 — 部 3 「それはない。分かるんだ」とありますが、佐伯がそう判断した理由となることを二つ
答えなさい。

問六 — 部 4 「正しい形」とありますが、それはどのようなことを言っていますか。説明しな
さい。

問七 X に入る言葉としてふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア うつくしい イ のんきな ウ 悲しげな エ やわらかな

〈問題はこれで終わりです〉

受験番号
学校名
小学校
氏名

点線より下には何も記入しないこと。
《成績集計欄》

一	誤	↓	正
二	誤	↓	正
三	誤	↓	正
四	誤	↓	正

1
2
3
4

三	
問一	1
	2
	3

問二

問三
こと。

問四

問五	A
	B
	C

問六	2
	1

四	
問一	1
	2
	3

問二	A
	B
	C
	D

問三

問四

問五

問六

問七

B I

--

--

--

--

国語B-I

【計12点】

1 (誤) 利↓(正) 効 2 (誤) 納↓(正) 収
3 (誤) 取↓(正) 採 4 (誤) 望↓(正) 臨

【計8点】

① 冬 ② 秋 ③ 夏 ④ 春

【計39点】

問一 1 調達 2 関心 3 ね (2点×3)

問二 イ (3点)

問三 リサイクルを重視し過ぎている(こと。)(4点)

問四 ・無駄が出ないように適切な生産の実現すること。

・納品期限と販売期限を延ばすこと。(5点×2)

問五 A エ B イ C ウ (2点×3)

問六 1 もったいない精神 (4点)

2 ア・オ (3点×2)

【計41点】

問一 1 盛 2 吸 3 捨 (2点×3)

問二 A オ B イ C ア D ウ (2点×4)

問三 大人も子供と同じような弱い感情を持っていること。(5点)

問四 イ (3点)

問五 ・花野が宙を受け入れるための準備として一生懸命部屋を片付けたこと。

・花野が佐伯に頭を下げて宙のために料理を作ってほしいと頼んだこと。(5点×2)

問六 花野と宙が親子として一緒に暮らすこと。(6点)

問七 エ (3点)